

「アイデアカー・フェスタ 2023」実施報告

- (1) 開催日 2023 年 9 月 23 日 (土)
- (2) 会場 宇都宮大学陽東地区 体育館 特設コース
- (3) 行事名 「アイデアカー・フェスタ 2023」

(4) 競技参加台数 ※()は事前登録台数

キットカークラス プレスクールクラス	19 台(23)[前年 8 台(9)]
キットカークラス キッズクラス	31 台(35)[前年 18 台(23)]
キットカークラス ジュニアクラス	27 台(29)[前年 16 台(19)]
キットカークラス 一般クラス	16 台(18)[前年 6 台(8)]
オープンクラス	5 台(6) [前年 4 台(5)]

(5) 特記事項

本年度のアイデアカー・フェスタ 2023 は 111 名のエントリーのうち 98 台の出走があった。昨年度はコロナ禍の影響を受けての開催であったが、本大会では参加者人数制限を特に設けずに実施した。また、これまではシナベニヤ板より車両キットを作成していたが、本大会では MDF 板より車両キット作成し、材料の刷新を図った。エアエンジン競技会から数えて第 17 回を迎えた本年度も装飾や塗装に凝った車両が増え、製作を楽しんでいた様子が伺えた。完走に至らない車両も見られたが、割合として昨年度と同等（約 2 割）であった。大会新記録は出なかったものの、オープンクラスでは 4 秒台の記録が現れ会場は大いに盛り上がった。競技車両中でも特に目を引いたものは、走行するとボディ上部に配置したプロペラにより発電、LED 点灯させるといった機構を載せた車両や、ゴム動力エンジンを 2 機搭載した車両もあり、アイデア溢れる大会となった。

(6) 広報ページ

URL <http://techsrv.eng.utsunomiya-u.ac.jp/ideacar2023/>

(7) 大会の様子



(8) 感想・コメント

本イベントの募集は栃木県教育委員会が企画している「とちぎ子どもの未来創造大学」という体験企画に登録し参加者を募っている。今年度は過密には配慮しつつもコロナ禍を気にせず実施するとあって、用意したキット 120 セットが勢いよく捌けるといった嬉しい悲鳴を上げる大会となった。会場の大きさから本イベントは 120 エントリーが参加者の上限のように感じた。リピーターは前大会同様 3 割あり、それだけ大会への関心が高く再挑戦したいという気持ちを持った参加者が居ることが伺え、本イベントが一定の好評価がなされていると思われる。

(9) 問題点、反省点

参加人数の増加とともに車両も多彩となってきている。丁寧に作りこまれたキットカーの記録が優秀である一方、低年齢クラスの車両の仕上がり具合において保護者の関与の違いにより差が大きいように見受けられる。モノづくりへの興味関心の喚起や、親子でモノを作る機会の増進を意図する以上、結果と切っては切れない関係にあり、競技の公平性については課題があると考えられる。いずれにせよ、今後も参加者が「楽しかった」と思えるような大会運営ができるよう心掛けたい。

以上